

 ふれあいネットワーク

No.115

# しあわせ

2021

8

AUGUST

編集・発行 一宮町社会福祉協議会

発行回数 年3回



令和3年度西部地区第1回買い物ツアー

人と人とのつながり  
ふれあい支えあい

住所 一宮町一宮1865 電話 0475-42-3424  
E-Mail [ichinomiya-shakyo@topaz.ocn.ne.jp](mailto:ichinomiya-shakyo@topaz.ocn.ne.jp)

# 西部地区社会福祉協議会で新たな試み ～お買い物ツアー～



どれにします？

## 西部地区お買い物ツアーアンケート結果

参加して良かった点や悪かった点をご記入ください。

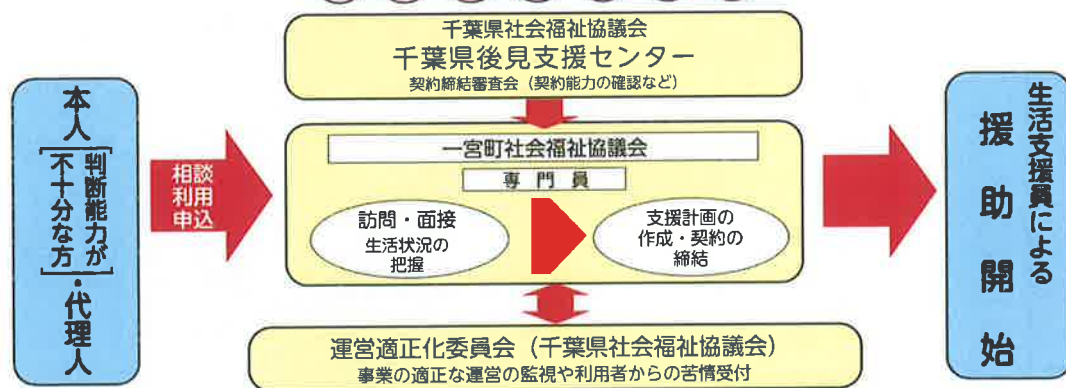
- 皆さんと会話ができて楽しい。良いひと時でした。
- 良かった
- 効率よく買い物が出来ました。付き添いがあり安心していられました。
- 満足致しました。ありがとうございました。
- とてもサービスが良かったです。

参加者の皆様から満足との回答を頂きました。

令和3年6月3日(木)西部地区お買い物ツアーを開催しました。参加者は、以前生活支援コーディネーターが訪問した際に生活の困り事として、買い物や交通手段に困っていると回答いただいた中の希望者で、午前3名午後2名の計5名でした。駐車場の事や買いたい物の要望から「スーパーさんどう」さんに協力をお願いしたところ、快く受け入れていただきました。事前に話し合いも行い、当日は店舗入り口付近に駐車スペースを確保してくださいました。また、日暮店長さんからは「協力できることがあれば」とのお言葉もいただき安心して実施することができました。当日は、社会福祉協議会の車で参加者宅に、生活支援コーディネーターがお迎えに行き、サポート役として同行しました。買い物中に高齢者の方が何に不便を感じるのか、どんなお手伝いが必要かなどを確認し、今後この事業を実施する為に、協力していただけるボランティアの皆さんにどう声掛けをしていくかなど課題を見つけてきました。

生活支援体制整備事業では、新型コロナウイルス感染症予防対策をしながら、町内にお住まいの75歳以上の高齢者宅を訪問しています。そこで生活上の困りごとやボランティア活動に、興味があるかなどをお聞きし、地域の支え合いの仕組みづくりができるよう活動しています。今回は、この事業のモデル地区である西部地区の取り組みをご紹介します。

## 利用までの流れ



## 日常生活自立支援事業

この事業は、在宅で日常生活を送る中で、十分な判断が出来ない方や体の自由がきかない方が、地域で安心して暮らせるように支援するものです。例えば、大切な書類の手続きを忘れてしまったり、通帳をどこにしまったか忘れてしまったり、月々の支払いがあるのに銀行などに行くことが出来ないなどの不安がある方に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などのお手伝いをします。

## ～生活支援員募集～

現在、安心して暮らせる地域づくりのため、新たに生活支援員として活動していただける方を募集しています。

詳しいことは、一宮町社会福祉協議会  
電話0475(42)3424まで  
お問い合わせください。

## 費用

- ・年会費  
年額3,600円(月額300円)
  - ・利用料金  
1時間30分未満 1,000円  
1時間30分以上2時間未満 1,500円  
以降30分ごとに500円加算
  - ・交通費  
30分未満 無料  
30分以上1時間未満 500円  
1時間以上 1,000円
- ※生活保護世帯は無料です。



障害者福祉会  
**すぐできる  
 ワンポイント防災**  
 ~ビニール袋2枚使って~

県主催研修会が、毎年一回地区を廻って開催されます。今年度は7月13日、GSSセンターで行われました。

研修テーマは「すぐできるワンポイント防災」と

千葉県身体障害者福祉協会主催の「令和3年度市町村身体障害者福祉会指導者(海匝・山武・長生)地区研修会・福祉講座」が、宮町GSSセンターに於いて令和3年7月13日(火)に開催されました。

敬愛大学地域連携センター藤森孝幸センター長を迎え、「今日からできる!」すぐにできるワンポイント防災をテーマとして講話を頂きました。

令和3年6月22日(火)千葉赤十字会館で行われた研修会にて、午前中はハイゼックス作り、すいはん袋に米と水を入れて80から100食を作る釜を組み立て、炊き出しを行いました。

好みで梅干し、醤油などで味つけするとおいしくいただけます。次に防災教材で、急におきる災害時の行動について、地震、津波、風水害時の避難「おさない・は

日赤奉仕団  
**不自由さに声掛け  
 安心できる**



下水の逆流を防ぐ!

して、敬愛大学センター長藤森氏の講演です。家具の固定・電気火災を防ぐ「感電ブレーカー」の取り付けハザードマップを使って地域の特性や避難所の確認他!

私が興味を持ったのが、水囊で屋内浸水を最低限にする事が出来ると、ビニール袋2枚使ったの作り方です。休憩後、福祉講座は県レクリエーション協会創作健康体操で、終了しました。

中村照夫



うまく乗り越えられるかな

「知らない・しゃべらない・もどらない」を守り行動するということの話し合いをしました。午後からは、高齢者体験、白内障用ゴーグルを付け、手足に重りを付け、背曲げエプロンを付けて杖を使用して机まで歩いて行き、自分の名前そしてふりがなも書くという事で、ゴーグルをふいても見づらく、手足は重くやつと



ハイゼックスおいしくなりますように



2020年東京オリンピックのサーフィン大会会場が、一宮町東浪見釣ヶ先海岸で開催が予定されました。

東浪見地区社会福祉協議会では、タネをまき、苗を植え付け、毎日の水やりと状況を見ながらの草取りを重ねたおかげで、きれいな大輪の花が咲きました。

世間、コロナ騒ぎで落ち着かない日々が続いていますが、大輪のひまわりの花のパワーを頂き、東京オリンピックサーフィン大会が盛大に開催され、優雅に終わることを祈念いたします。

三枝貫治

東浪見地区社協  
**ひまわりで  
 お出迎え**

名前を書きました。不自由なことが沢山あることに気付き声をかけてもらおうと安心すると思いました。また、車いすの操作、段差の乗り降り、坂道の押し方など、自分が乗っての体験でした。

丸島文子

令和3年度  
結婚50周年記念品  
贈呈について

対象者

昭和46年9月1日～昭和47年8月31日  
までにご結婚された方

申込み先

一宮町社会福祉協議会に申込用紙を  
ご用意いたします。

印鑑をご持参の上お越し下さい。

※一宮町に本籍がない方は、本籍地の戸籍謄本が必要です。

締切日

令和3年9月17日(金)

お問い合わせ

電話(42)3424

一宮町社会福祉協議会



一宮町ボランティア福祉フェス  
ティバル中止のお知らせです。

例年10月に開催していますボラン  
ティア福祉フェスティバルは、昨今の新  
型コロナウイルス感染症拡大防止の観  
点から、各協力団体関係者及び来場者  
の皆様の安全を考慮し中止します。

開催を楽しみにされていた参加者及  
び関係団体の皆様には大変ご迷惑をお  
かけしますが、ご理解いただきますよう  
お願い申し上げます。

ふれあい昼食会のお知らせです。

例年、10月に町内に住む75歳以上  
のお一人暮らしの皆様をお招きしてボ  
ランティアによる食事と演芸を楽しん  
でいただくことを目的として開催して  
おりました、ふれあい昼食会は新型コ  
ロナウイルス感染症拡大防止の観点か  
ら、従来どおりの開催は、難しいため、  
お弁当を配付する形での訪問を予定し  
ています。

対象者となられる皆様には、改めて  
お知らせいたします。

今年の6月より社協に入職し  
広報編集に携わることになり  
ました。  
わからない事ばかりですが、  
他の編集委員の方に学びなが  
ら発行日が待ち遠しくなるよ  
うな「しあわせ」が作れるよ  
う努力して参りますので、よ  
ろしく願っています。

森 友季菜

編集後記



上段、左から桜井 新・吉野 瑠依・長谷川 恵利・森 友季菜  
下段、左から高師 一雄・峰島 伸吉

一宮町社会福祉協議会では、  
5地区社協と共に地域の特性  
を活かした福祉活動を行なつ  
たり、ボランティアの活動や  
コロナ禍における相談援助な  
どの支援を展開しています。  
また、独自事業として、高齢  
者や障がい者の方の介護事業、  
高齢者による社会貢献の場と  
してシルバー人材センター  
事業を実施しています。現在、  
コロナ禍で通常の事業が思う  
ようにできない状況が続いて  
いますが、ワクチン接種も進  
み、少しずつですができるこ  
とを行い、また、新たな取組  
にチャレンジしてまいります。

事務局長 高師一雄

社協の職員紹介

令和2年度社会福祉協議会会計決算

(単位:円)

収 入		支 出	
会費収入	1,770,100	人件費支出	52,625,486
寄付金収入	59,623	事業費支出	31,866,509
経常経費補助金収入	22,052,789	事務費支出	5,615,164
受託金収入	34,437,419	貸付事業支出	230,000
貸付事業収入	262,000	助成金支出	1,125,000
事業収入	49,600	負担金支出	75,400
介護保険事業収入	28,832,040	その他の支出	182,117
障害福祉サービス等事業収入	6,705,290	流動資産評価損等による資金減少額	0
受取利息配当金収入	4,636	固定資産取得支出	790,500
その他の収入	1,542,805	積立資産支出	622,250
施設整備等補助金収入	0	その他の活動による支出	1,742,540
施設整備等寄付金収入	0	予備費	0
積立資産取崩収入	4,954,500	当期末支払資金残高(次年度繰越金)	26,994,765
その他の活動による収入	650,720		
前期末支払資金残高(繰越金)	20,548,209		
合 計	121,869,731	合 計	121,869,731

令和3年度社会福祉協議会会計予算

(単位:円)

収 入		支 出	
会費収入	1,845,000	人件費支出	54,834,000
寄付金収入	133,000	事業費支出	33,330,000
経常経費補助金収入	25,263,000	事務費支出	6,321,000
受託金収入	35,629,000	貸付事業支出	250,000
貸付事業収入	250,000	助成金支出	1,725,000
事業収入	42,000	負担金支出	76,000
介護保険事業収入	27,008,000	固定資産取得支出	224,000
障害福祉サービス等事業収入	6,779,000	積立資産支出	691,000
受取利息配当金収入	12,000	その他の活動による支出	2,080,000
その他の収入	265,000	予備費	465,000
施設整備等補助金収入	0	当期末支払資金残高(次年度繰越金)	385,000
施設整備等寄付金収入	0		
積立資産取崩収入	0		
前期末支払資金残高(繰越金)	3,155,000		
合 計	100,381,000	合 計	100,381,000